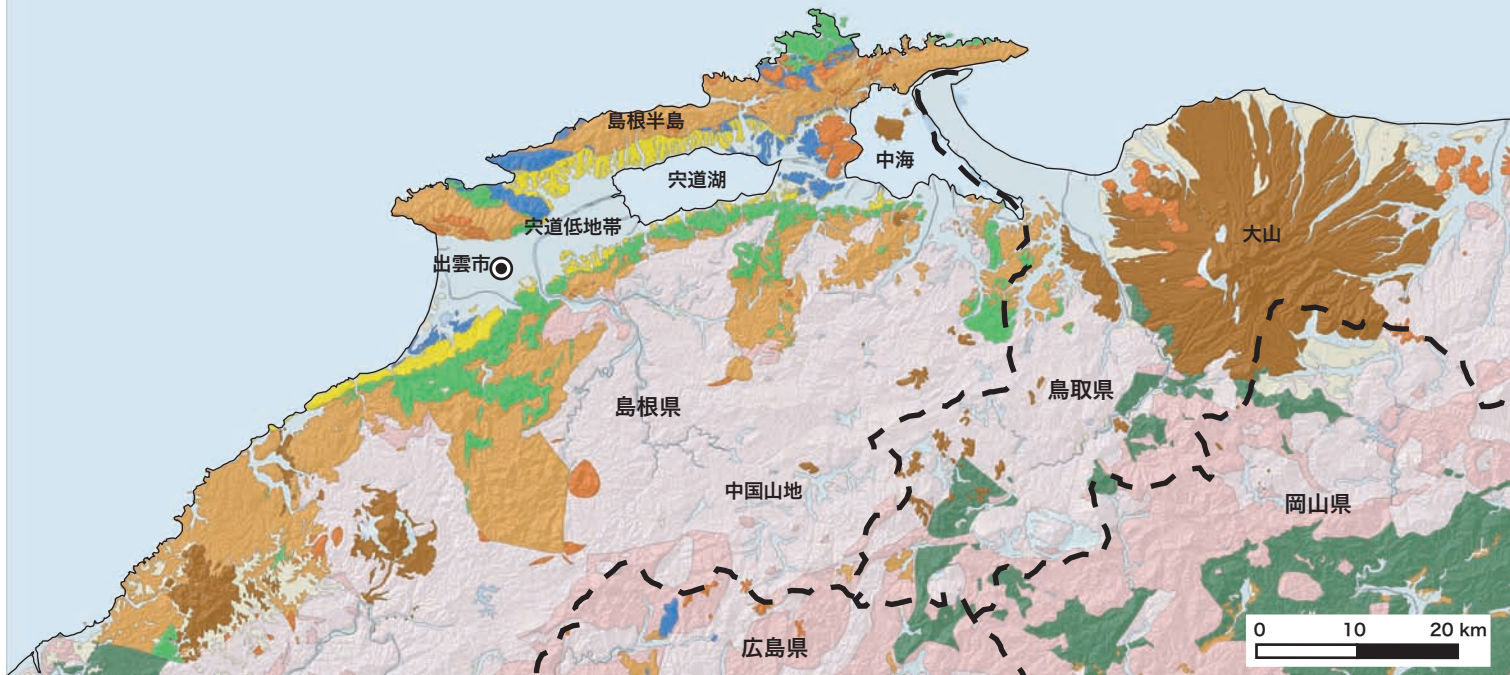


出雲地方周辺の地質

出雲地方の地質は、大きく分けると島根半島には新第三紀の地層が、宍道低地帯には第四紀の地層が、そして中国山地には新第三紀と新第三紀よりも古い地層が分布しています。この地質図に示した色は、左下の層序表に示した地層・岩石の色に対応しています。



本地質図は、産業技術総合研究所研究情報公開データベース「20万分の1日本数値地質図データベース」(産総研著作物管理番号: H17PRO-316)を基に作成しました。また、この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図250mメッシュ(標高)を使用しました。(承認番号 平17総使 第135号)

第四紀	完新世	沖積層
	1万年前	
	更新世	段丘堆積物 扇状地堆積物 湖成堆積物
	180万年前	大根島玄武岩 野呂玄武岩
	鮮新世	和久羅山安山岩
	530万年前	
	後期中新世	松江層および斐川層 布志名層および古江層 大森層および牛切層 久利・川合層および成相寺層 古浦層
	1160万年前	
	中期中新世	
	1600万年前	
前期中新世		
2300万年前		
漸新世		
古第三紀	始新世	花崗岩
3400万年前		
5600万年前	花崗閃緑岩	
暁新世		
中生代	白亜紀	火山岩類
6500万年前	後期	
1億年前	先白亜紀	変成岩・堆積岩など

第四紀の地層・岩石

宍道低地帯には、完新世の河川・扇状地・砂州・湖成堆積物が広く分布し、そのまわりに更新世の河川成の段丘堆積物、扇状地堆積物、湖成堆積物などの地層が分布しています。また、東出雲町から安来市にかけては「野呂玄武岩」が、大根島には「大根島玄武岩」が、大山には安山岩や火山噴出物などが分布しています。

新第三紀の地層・岩石

出雲地方の新第三紀堆積物は、島根半島と中国山地北縁に中新世の海成堆積岩と火山岩からなっています。これらの地層は下から、「古浦層」、「久利・川合層および成相寺層」、「大森層(来待層を含む)および牛切層」、「布志名層および古江層」、「松江層および斐川層」に区分されます。海成堆積岩には貝類などの動物化石が含まれており、とくに布志名層はカバに似たほ乳類デスマチルスや多くの種類の海生貝化石が産出されることで知られています。そのほかに松江市東部には鮮新世の「和久羅山安山岩」が分布しています。

新第三紀よりも古い地層・岩石

出雲地方の新第三紀よりも古い地層・岩石は、白亜紀後期の酸性火山岩と古第三紀の花崗岩類から主になっています。これらの地層・岩石は中国山地に広く分布しています。また、浜田市周辺や鳥取県との県境周辺には、白亜紀より古い時代の変成岩類や堆積岩類が分布しています。

参考文献

- 鹿野和彦・竹内圭史・松浦浩久(1991):今市地域の地質。地域地質研究報告(5万分の1地質図幅)。地質調査所、79p。
- 鹿野和彦・山内靖喜・高安克己・松浦浩久・豊 通秋(1994):松江地域の地質。地域地質研究報告(5万分の1地質図幅)。地質調査所、126p。

出雲地方周辺における地質層序表
地層名の色は地質図の色に対応しています。